

# にげ 歴民だより

第8号（平成26年4月）

発行：新座市立歴史民俗資料館  
新座市片山一丁目21番25号  
電話 048-481-0177  
FAX 048-481-0149  
Eメール rekimin@city.niiza.lg.jp



春の訪れを告げる桜の開花。今年は少し遅かったですね……。先日、市内の「妙音沢緑地」で新種の桜が発見されたニュースが話題になり、「ミョウオンサワハタザクラ」と命名されました。お花見の時期は逸してしまいましたが、来年の桜の季節には、その珍しく、エレガントな花をいっぱい咲かせて、きっと私たちの目を楽しませてくれることでしょう。

新種ではありませんが、資料館の桜も負けてはいませんよ！今年もたくさんの花を咲かせ、園庭一面花びらのじゅうたんが敷き詰められるほどで市内の“名物桜”もその存在を誇示しました。残念ながら桜のシーズンは終わりましたがチューリップをはじめ花盛りですので、片山地区の隠れた花の名所である歴史民俗資料館にも皆様、ぜひ足をお運びください！

## 資料館トピックス（1月～3月）

### ★『市民文化財講座』を開催しました！



写真：第1日目

今年度は「郷土をめぐる支配者たち」をメインテーマに、時代を新座の原点ともいえる「古代」と、「野火止用水」や「平林寺」に代表される「近世」（江戸時代）の二つに分けて開催しました。

2月22日（土）は第1回講座として、古代史をテーマとした「武蔵国の起こりと新羅郡設置からみた支配体制」について、大東文化大学文学部准教授の宮瀧交二先生から講義をいただきました。

また、3月1日（土）の第2回講座では、近世史をテーマとした、「近世における幕藩体制と支配構造」について、國學院大学文学部教授で本市文化財保護審議委員長の根岸茂夫先生による講義をいただきました。

古代史を斬新な切り口で興味深いお話しをしてくださった宮瀧先生、近世史の権威である根岸先生の、数多くの史料をフルに活用した重厚で濃密なお話しぶりに時がたつのも忘れるほどでした。

両先生の魅力あふれる講義に、両日とも会場が満席となる盛況ぶりでした。



写真：第2日目

## ★今年度の歴史民俗資料館の事業計画のあらましです。



写真：昨年の市内文化財めぐり

(大和田氷川神社)

6月14日(土) 市内文化財めぐり「野火止の里を訪ねて」

7月19日(土) 郷土史セミナー「引又道を訪ねる」

8月19日(火) 夏休み子ども文化財講座

「野火止用水浴いの自然観察など」

8月中旬～下旬 特別企画展(内容など検討中)

9月中旬～下旬 市内文化財めぐり「片山南部地区」

11月3日(文化の日) 第3回歴民の集い

2月 文化財講座(内容など検討中)

※ 募集などの詳細は、決まり次第「広報にいざ」に掲載しますので、ぜひご覧ください。



## ★寄贈ありがとうございました！

常設展「昭和の暮らし」コーナーを一層充実させるために「歴民だより」で引き続き寄贈のご協力をお願いしておりますが、今年度は「タイガー手回し式計算機(昭和45年製)」、「ラジオ(昭和30年代後半)」、「日本古代史の旅・全8巻」が市民の方から寄贈されました。受け入れ手続き後、早速「昔の暮らしコーナー」に展示させていただきました。

図書は玄関ホールの見覧用図書の本棚に配置しましたので、どうぞお手にとってご覧ください。



貝母(バイモ)の花



オトギリ草

## ★薬草園も進行中です！

以前、5月号(平成25年5月)でご案内しましたが、江戸時代に市内に数か所あったと伝えられる「薬草園」の雰囲気再現するため、郷土史サークル「にいざ歴史文化財研究会」の方が、ボランティアで鑑賞用として薬草の苗を植えてくださっています。この1年で少しずつ種類も増え、それぞれの開花の時期をじっと待っています。すでに開花しているものもありますので、どうぞご覧ください！

## 探しています！

～常設展「昭和の暮らし」展示品の充実にご協力ください！～

常設展示の「昭和の暮らし」コーナーを充実させるために次の品物の寄贈を募っております。①七輪 ②蠅帳(食卓用の蚊帳) ③自在かぎ(囲炉裏に吊るもの)

ご協力いただける方は、事前に歴史民俗資料館にご連絡ください。お待ちしております！